

Fusyo Collaboration letter



6月27日 No.16 文責 廣田 秀俊

ほめ言葉のシャワー ～学級経営四つの取組より～

本校では学級経営の四つの取組を全校で取り組んでいます。

1. フリートークの取組:お題に沿って、児童が自由に自分の考えを伝え合う活動
2. ほめ言葉のシャワーの取組:一人ひとりの良いところやがんばりを見つけ伝え合う活動
3. 価値語の取組:子供たちの考え方やプラスに導くための言葉。また、広めたいと思う姿、
良い姿、目指す姿を表した言葉
4. 成長ノートの取組:自分の内面を見つめ、それを自分の言葉で書き記していき
ながら、教師と子供がつながり、成長へと向かうためのノート



これらの活動の意義や目的を子供たちと共有し、日常化することで、子供たちの成長へとつなげていっています。教室が信頼と承認の空間となり、自己承認や相互承認を行えるように活動を続けています。

3年生のほめ言葉のシャワーの取組を全職員で参観しました。
緊張しながらも子供たちは、いつもの取組を発表してくれました。

まず初めに主役の発表です。ここからほめ合いのシャワーが
スタートします。主役の人に、自分が見つけたいところを伝えていきます。

- ・誰とでも仲よくできるところ
- ・笑わせてくれるところ
- ・挑戦をしているところ
- ・がんばりを発揮しているところ
- ・力が強いところ
- ・楽しく優しくできるところ 等

たくさんのほめ言葉がこだましていきます。理由も付け加わっていきます。「なぜかという～」の言葉の後には、休み時間の様子や当番活動の姿、授業中の出来事などエピソードがそれぞれに添えられていました。



クラス全員が、その日の主役のよさを伝えています。一人ひとりが主役と向き合って話していきます。主役の子が自分の場所に来る前から、どの子も笑顔で待ち構えていました。

一人ひとりに「ありがとう」と返す言葉や(そんなところまで見てくれた)という思いで、主役の子も自然と笑顔になっていく様子が見られました。

自分だけが知っていることをクラスで大事にしている言葉にのせて
伝えたり、仲間の言葉に知らなかった事実を改めて確認したり、クラス
の絆がどんどん深まっています。

